

◆一華会展の様子



展覧会初日、赤澤智恵子副会長による作品解説

<授賞式>



会長賞受賞の上岡啓翠さん



大賞受賞の有田栄里子さん



上岡さんによる席上揮毫



鑑・審査員の先生と授賞者の皆さんで記念撮影

<祝賀懇親会>



来賓の衆議院議員小林史明先生のご挨拶



授賞者の顕彰

<ワークショップ>

展覧会最終日、ふくやま美術館において『東晋から北魏時代までの古典臨書(意臨)に取り組もう』と題して、児玉恒風展覧会部長の指導のもと行われた。中学生から大人30数名の参加があり、熱心にかつ楽しい、あっという間の2時間であった。来年もこのようなワークショップを望む声が多数あった。



手本書きされる児玉恒風さん



参加者の皆さん

<併設古典臨書コーナー>

鑑・審査員による古典臨書作品も展示された。昨年は殷代から漢代までを、今年もは続いて東晋から北魏時代までの16点の展示であった。千葉幽篁理事長より、その時代の背景や書の特徴を作品見ながら解説が行われた。



千葉幽篁さんの解説



展示の臨書作品